



太陽光発電の費用回収をご存知ですか? シミュレーションをしてみよう



今回は、太陽光発電の費用を回収する「売電」について解説いたします

売電① 固定価格買取制度とはどんなしくみののか

再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを約束する制度です。電力会社が買い取る費用の一部を、電気の利用者から賦課金という形で集め、コストの高い再生可能エネルギーの普及を支えているのです。

売電② ..では、電気はいくらで売れるのか

経済産業大臣が、中立的な立場である調達価格算定委員会による意見を尊重しながら、発電事業が効率的に行われた場合に必要となるコストを基礎として、適正な利潤などを勘案して定められています。

2019年度	10kWh 以上	10kWh 未満	10kWh 未満
	14円 /kW	26円 /kW	24円 /kW

※10kW 以上は税別なので、10%税込み金額では 15.4 円 /kW。10kW 未満は出力制御対応機器義務ありエリアと義務なしエリアで単価がちがいます。

売電③ 設備の発電量を最大にする

太陽光発電設備は、パネルの容量、方位、水平角度、地域などにより発電量は変化します。一般的には、南向き 30 度が最適とされています。



年間発電量1200kWh/kW の地域の場合

- ▶ 太陽光発電設備のパネル容量から売電期間中の発電量を計算してみましょう
10kW の設備で 20 年間の売電契約した場合、1 年間では $10 \times 1,200 = 12,000$ kWh、20 年間では $12,000 \times 20 = 240,000$ kWh 発電します。
売電単価が 15.4 円 /kWh なら $15.4 \times 240,000 = 3,696,000$ 円分売電出来ることとなります。

電気代高騰の時代、太陽光発電を自家消費に使えるのもお得です

例えば 26 円で売らずに 32.9 円 (30 円 + 賦課金) で使うと、経済メリット UP。FIT 終了後は売電価格の低下と電気代高騰で、さらに節約になるかも。

太陽光に関するお問い合わせは